

6-3 西南日本内陸部の地震活動（1990年7月～12月）

Seismic Activity in the Inner Zone of Southwest Japan (July–December, 1990)

京都大学防災研究所

地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction, Disaster Prevention Research Institute
Kyoto University

第1図は1990年7月より12月までの期間中の西南日本内陸部の地震活動状況を示す。中部地方北西部のうち飛騨地方東部と北陸地方南部、および近畿地方中北部のうち琵琶湖東方と西方や京都―大阪間で活発な活動が見られる。以下各地域の顕著な活動について述べる。

1. 中部地方北西部の地震活動

第2図は飛騨地方北部および能登半島周辺の地震活動状況である。このうち主なものは (1) 7月19日および23日の飛騨山脈南部のM3.0の地震, (2) 富山湾岸新湊付近で8月12日および13日に連続して発生したM3.7とM4.3の地震, (3) 10月30日および11月4日の烏帽子岳西方で起こったM3.1の地震, (4) 能登半島東部七尾湾内に11月16日に起ったM3.8の地震, (5) 11月26日富山平野東部黒菱山断層南西端に連続して起こったM4.1およびM3.0の地震, (6) 12月3日富山・新潟県境付近のM3.9の地震, (7) 12月26日富山県南西部のM3.0の地震などである。第3図は北陸地方南部の地震活動を示す。この期間中に目立った活動としては, (1) 7月26日大聖寺沖に起こったM4.2, $h=6.5\text{km}$ の地震で, この位置は1952年大聖寺沖地震 ($M=6.8$) の震央位置に近い。(3)は琵琶湖北東で11月4日に起ったM3.5, $h=37\text{km}$ の地殻下の地震などである。

2. 近畿地方中・北部の地震活動

第4図はこの期間の近畿地方中・北部の地震活動状況を示したものである。琵琶湖西方および京都―大阪間の活動が活発であるが, $M>3.5$ の比較的顕著な地震は数少ない。(1)は11月2日京都西方あるいは亀岡南東に起こったM3.9, $h=12\text{km}$ の地震である。

3. 中国地方東部の地震活動

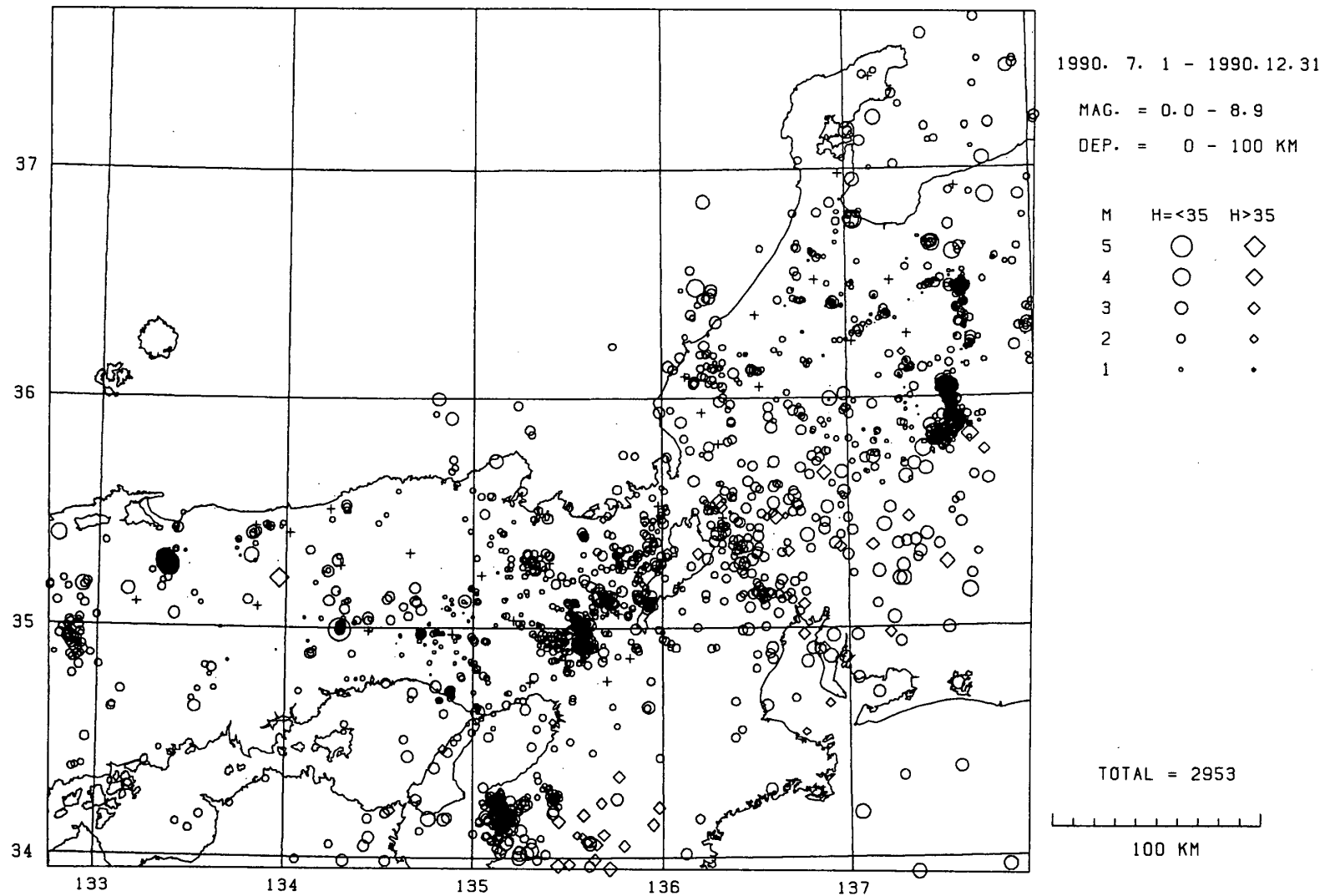
第5図はこの期間中の中国地方東部の地震活動状況である。この期間中の顕著な活動としては, (1) 9月29日兵庫県佐用付近に発生したM5.2, $h=12\text{km}$ の地震があるが, この本震と余震分布, 本震のメカニズムと地震前後の地下水中の電気伝導度の変化などについてはすでに別¹⁾に報告されている。(2)は米子南方で連続して発生した11月21日のM5.1, $h=9\text{km}$, 11月23日のM5.2, $h=10\text{km}$, 12月1日のM5.1, $h=9\text{km}$ の地震とその余震活動($M\geq 3.5$ のもの8個を含む)であり, これについてもすでに前報²⁾に報告されている。

4. メカニズム

第6図にこの期間中に西南日本内陸部に発生した主要な地震 ($M\geq 3.5$) のメカニズムを示した。飛騨地方周辺の地震(2), (4), (5)については別報³⁾に報告されている。

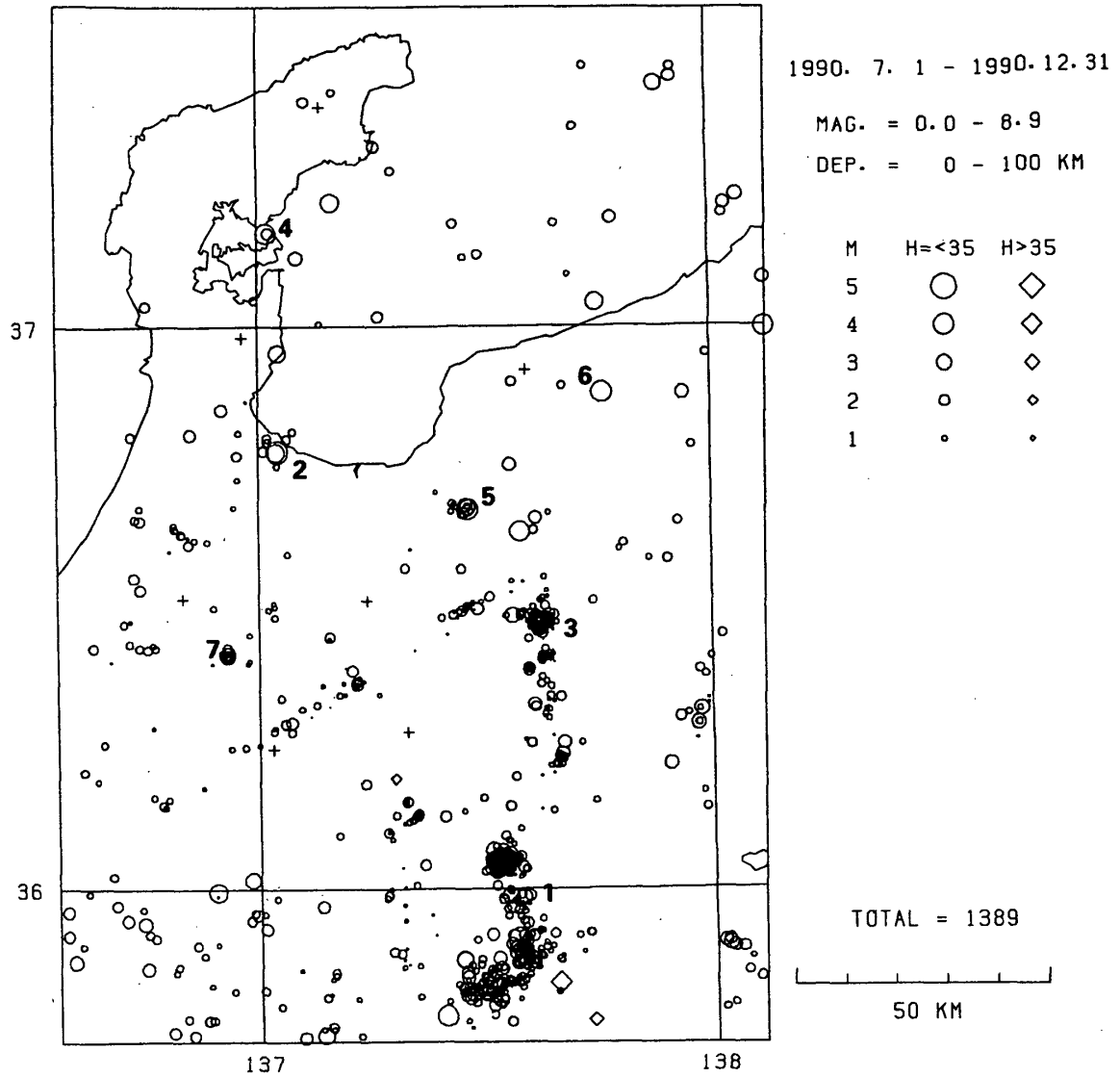
参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所地震予知研究センター：1990年9月29日兵庫県佐用付近の地震（M5.2），連絡会報，**45**(1991)，412-418.
- 2) 京都大学防災研究所地震予知研究センター：米子南方に再び発生した群発的な地震活動，連絡会報，**45**(1991)，404-411.
- 3) 京都大学防災研究所地震予知研究センター：飛騨地方周辺の最近の地震活動，連絡会報，**46**(1991)，322-329.



第1図 西南日本内陸部の地震活動（1990年7月～12月）

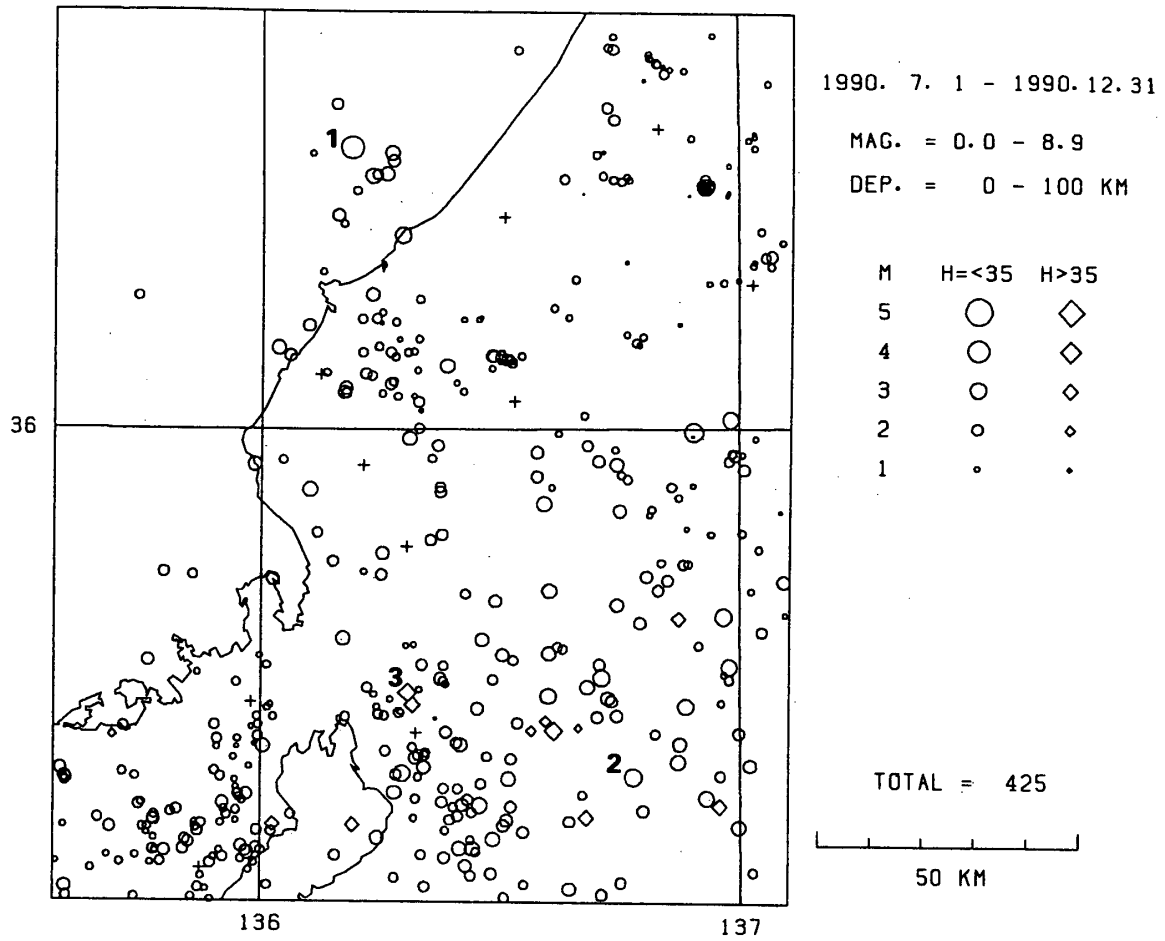
Fig. 1 Seismicity in the inner zone of Southwest Japan, July - December, 1990.



第2図 中部地方北西部の地震活動 (1)

飛騨地方北部および北陸地方北部 (1990年7月~12月)

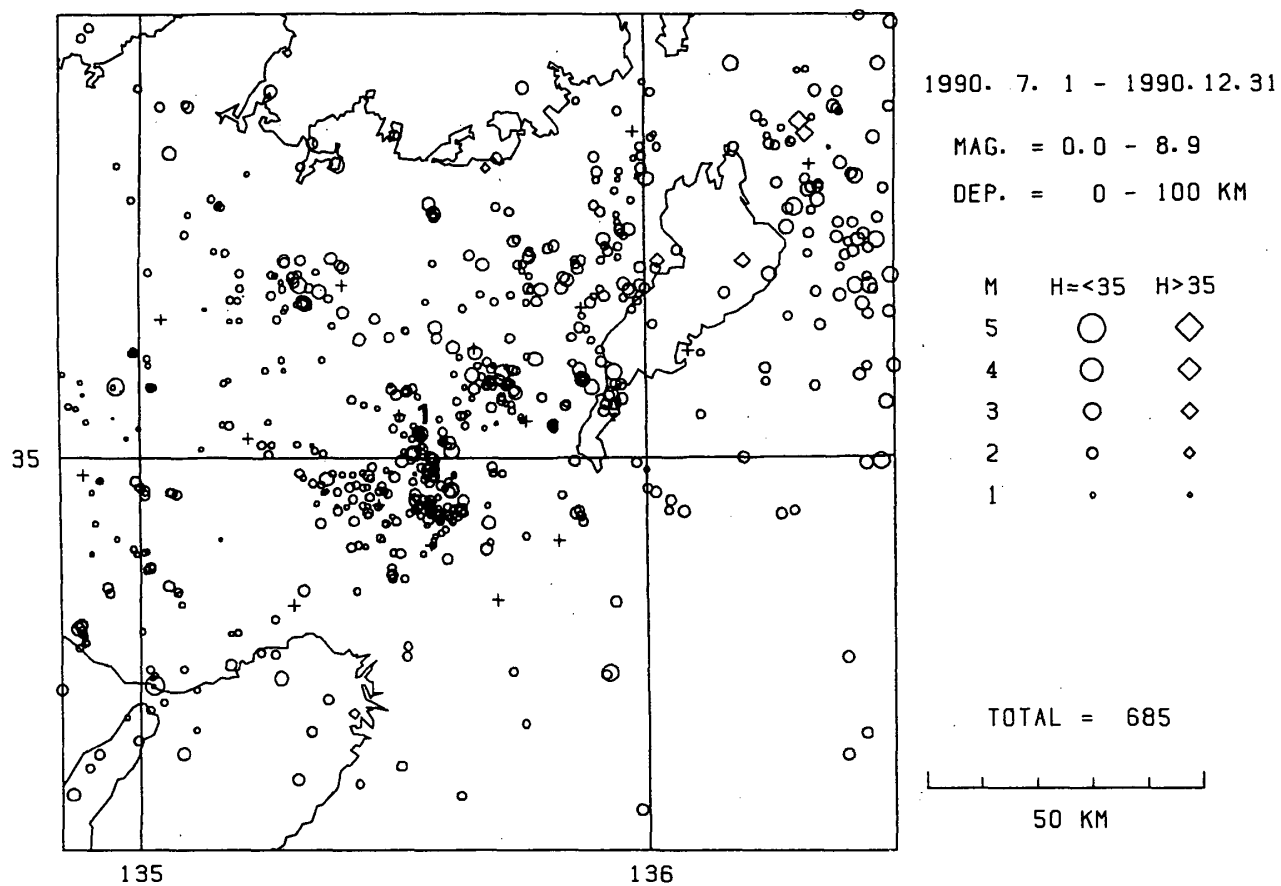
Fig. 2 Seismicity in the northwestern Chubu region, (1) northern Hida and northern Hokuriku regions, during the period July - December, 1990.



第3図 中部地方北西部の地震活動 (2)

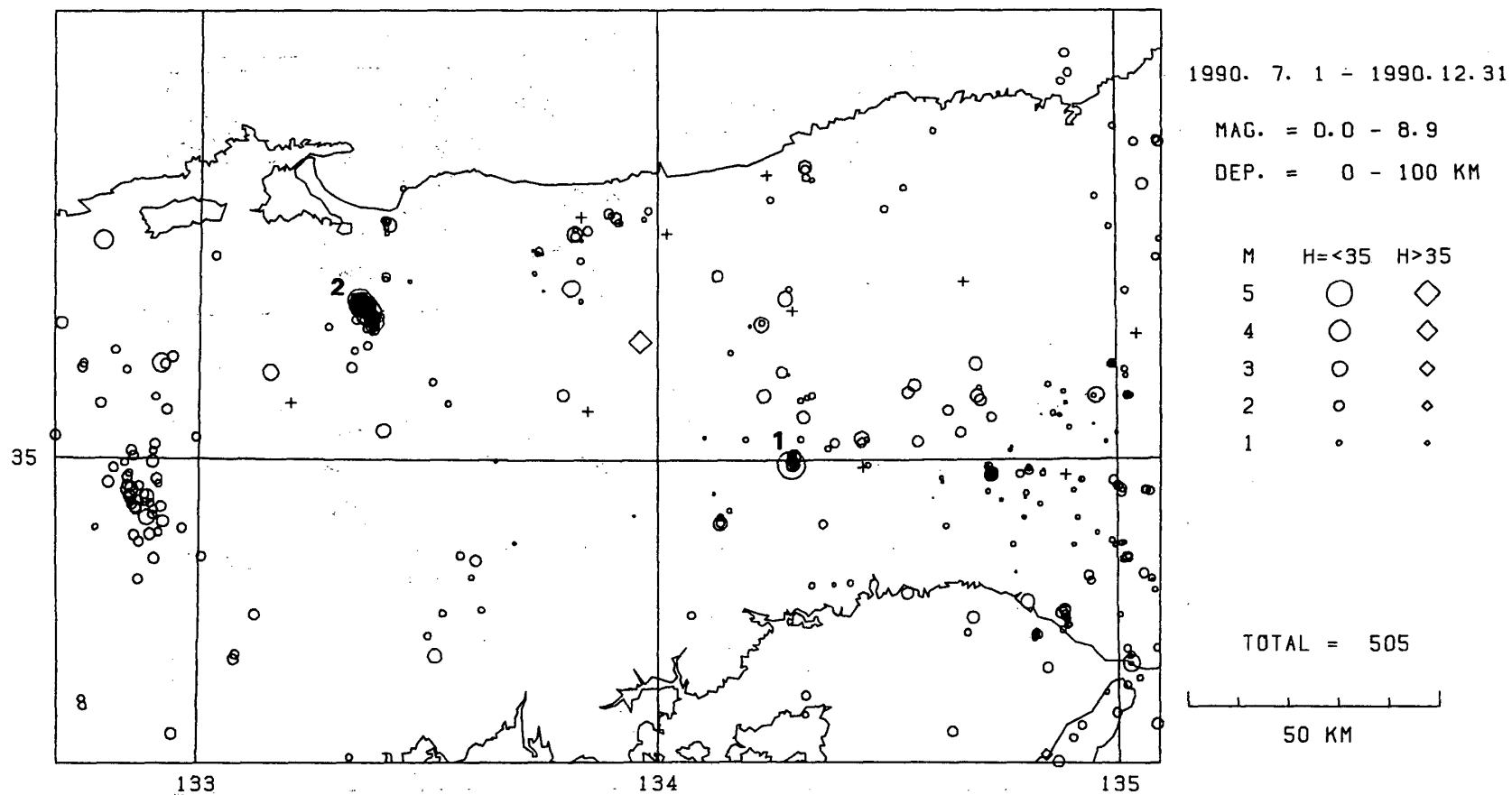
北陸地方南部 (1990年7月~12月)

Fig. 3 Seismicity in the northwestern Chubu region, (2) southern Hokuriku region, during the period July - December, 1990.



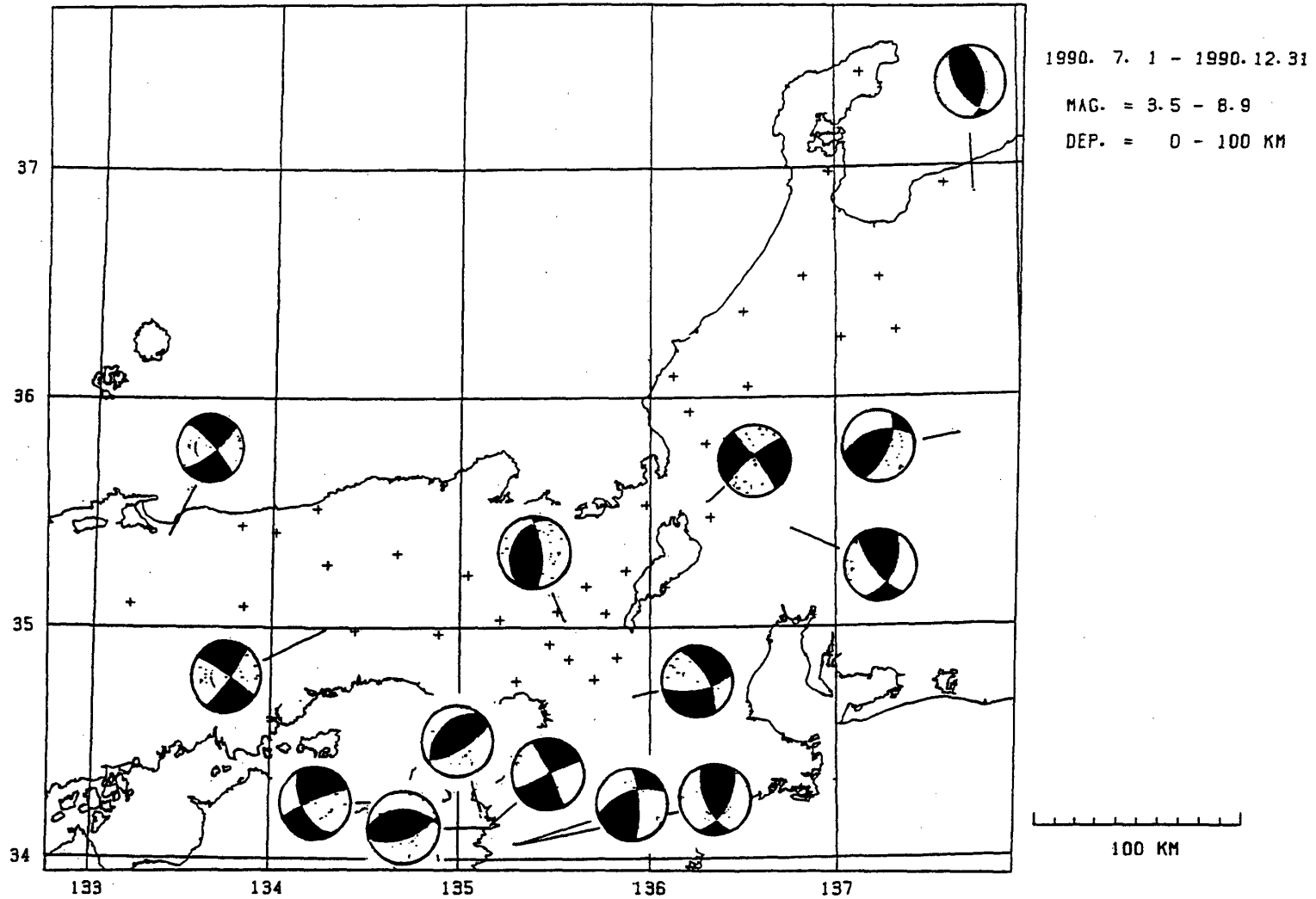
第4図 近畿地方中・北部の地震活動（1990年7月～12月）

Fig. 4 Seismicity in the central and northern Kinki region, during the period July - December, 1990.



第5図 中国地方東部の地震活動（1990年7月～12月）

Fig. 5 Seismicity in the eastern Chugoku region, during the period July - December, 1990.



第6図 主要な地震 ($M \geq 3.5$) のメカニズム

Fig. 6 Focal mechanism solutions of several moderate-size earthquakes in the inner zone of Southwest Japan.